

自然いっぱいの「里山体験記」

一里山ってどんなところ

土屋にある里山体験フィールドを知っていますか。「里山をよみがえらせる会」の人たちによって荒れた里山が様々な自然体験のできる場所に生まれ変わったのです。このフィールドで開かれた「夏休みこども環境教室・里山編」を清水さんが取材してきました。



夏澄ちゃん、なんかいるよ

里山には昆虫がいっぱい



清水 千晶

今回参加したのは、小さな子どもから大人まで60人以上の人です。昆虫探しをしたり、木を植えたり、雑木林を観察したりしました。わたしは、コナラという細い幹の木を植えました。10年くらいたてば、もう、りっぱな木になって、ほかの木の仲間入りをするそうです。里山の中には、樹液がついていませう。その樹液を食べにカブト虫やカナブンやハチなど色々な虫がやってきます。里山をよみがえらせる会の小清水四郎さんから色々話を聞きました。「里山を育てていくのに、大変なこと



りやすく教えてくれました。里山には、葉っぱやセミのぬげがらがたくさんありました。そして、



四郎さん、わたしたちにできることは…

は何ですか？」「わたしたち子どもにできることは何ですか？」と聞いてみると、「この里山で、君たちができることは、下草刈りかな」今日来てくれた人たちが、これからも里山に来て、人の広がりが出て、

大きくな～れ、コナラの木
ほかの場所でも里山を育ててほしい。これからは、苗木を植えてみんなで力を合わせて、里山を育てていってほしいな」と分か

みんなへのメッセージ

自分の周りの環境について、何かできることはないか探して、きれいな自然をみんなで守りたいです。



ひらつか環境フォーラム

一豊田小学校の取り組み

豊田小学校は昨年、優れた環境への取り組みを表彰する「ひらつか環境大賞」を受賞しました。環境への取り組みをみんなで考えた、ひらつか環境フォーラムで、豊田小学校のISO委員会、通称ECOレンジャーがその取り組みを発表しました。



うまくしゃべれるかな



みんなとっても緊張しました

- 落ち葉を使った腐葉土作り
- EM活性液を使ったブルー清掃
- もち米の米ぬかと給食の残りやEM菌を混ぜるたい肥作り
- 今回、発表した内容をまとめること

驚きの環境大賞受賞



鈴木 夏澄

平塚市立豊田小学校、ひらつか環境大賞。こんな記事が目に入ってきました。わたしは、正直びっくりしました。1年生のころからずっとやってきたことの結果が出て、とてもうれしかったです。

中でも、自分が発表した腐葉土作りを少し詳しく説明します。腐葉土は、落ち葉と米ぬかと活性液をサンドイッチ状にして作ります。



EM菌たい肥作りに挑戦

● 雨水タンクを使った花の水やりなどです。

みんなへのメッセージ

わたしたちができることなら、小さなことでも、行動に移して温暖化の原因となるCO2を減らしましょう。



みなさんも小さなことからいいので、ぜひ、身近なエコから取り組んでみてください。



みんなで花も育てています

※EM菌…人の腸内に住むビフィス菌のように、動植物の細胞を活性化させる酵素などを作り出す微生物